

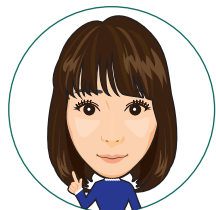
ご挨拶と車の凍結時のアドバイス



明けましておめでとうございます！みずきと愛犬のハヤテです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げますね！^^

さて、この冬は気温がかなり下がり、早朝は起きるのが辛いくらいですよ。仕事に行く前に車が凍結してしまっていて、「やばい！遅刻する！」って経験をした方もいるのではないのでしょうか？

そういえば寒い朝に車に水をかけたり、エンジンかけて暫く待ってたりしてたよね。どうして寒い朝、車って凍結するんだろう？



前日に晴れていてよく温められた空気が、夜から朝にかけての気温の低下によって空気中の水分が急激に冷やされて、霜がつくんだって！

フロントガラスも、サイドの窓も凍って真っ白で見えなくてびっくりしたよ！



もちろん凍結して視界が悪いまま運転するなんてとんでもないから、凍結を溶かす為に、エンジンをかけて、ワイパーを動かして、水かけてって地道に溶かさなきゃいけないんだよね。予防のためには外の冷やされた空気にさらさなければいいから、ガレージに入れるとか、カー用品店で「霜除けのフロントガラスカバー」を購入してかけておくことで予防できるんだって。ちなみに、霜ができてしまった時、手っ取り早くお湯かけて溶かしちゃえって思うけど、それは厳禁って知ってた？

え！？そうなの！？なんでお湯かけて一気に溶かさないんだろうって思ってたよ！



冬場の車の凍結時の対処方法をまとめたので、ぜひご覧くださいね！

車が凍結した際のかしこい対処法

1 エンジンをかけてフロントガラスに風を送りワイパーを動かす

暖気解氷はみなさんやっているとと思いますが、エンジンをかけてフロントガラス送風にワイパーを作動させます。ガラスの温度を上げてガラスと接着している部分から霜を溶かすことで、多少時間はかかりますが、これと並行して2番を行うことですばやくダメージなく霜を落とすことができます。

2 ぬるま湯をかけて霜をとく

ここで絶対しちゃいけないのが、表面でも言いましたが、お湯をかけること。その理由は、ガラスは急激な温度変化に弱いからです。特に車のフロントガラスは、事故などの衝突時にガラスが飛散しないよう複数構造になっています。素材の異なるガラスは膨張率も異なるため、急激な温度変化で割れてしまう危険性が高いそうです。

もう一つ、絶対やってはいけない理由は、お湯をかけた瞬間は解けるのですが、外気との温度差で発生する水蒸気が、また凍結するという悪循環が起こる可能性があるからです。

！ 解氷スプレーをつかう

手っ取り早い方法としては、解氷スプレーを使用することです。「解氷スプレー」は、0℃でも凍らないアルコールの性質を利用し、窓ガラスの氷点（氷結する温度）を下げることで解かします。瞬時に解けるのでストレスありません。

カー用品店やドラッグストアなどで、300円～1000円くらいで売っていますので、気になる人はぜひチェックを！



お湯をかけることがタブーな理由はお分かり頂けましたでしょうか？駐車スペースの関係で朝方ずっと日陰になってしまう人は冬の朝は霜との戦いから始まりますよね。私の家もずっと日陰でなかなか溶けません。かしこく霜を溶かす方法を実行すること、その前に予防策として撥水コートをしておいたり、フロントガラスにカバーをかけるなどの対策を講じておくのもいいですね！^^そして何より大事なのが、時間に余裕を持って出発すること！「まだ見えにくいけど、時間がない！」なんてことはないようにしてくださいね。今年も安全運転で！本年もよろしくお願い致します。

今年は成年！僕の年！僕もみなさんの安全のために色々勉強して、お伝えできるように頑張ります！今年もよろしくお願いします！



和田保険事務所では、自動車、火災、傷害保険に限らず、生命保険や医療保険、年金や旅行保険等、様々な保険を取り扱っています！資格を持ったスタッフが、様々なリスクを想定し、あなたに合った保険をご提案させていただきますので、わからないことがあればお気軽にご相談ください。いつでもご説明に伺います！ご親族様やご友人のご紹介等ございましたら、和田保険事務所までご連絡をお願い致します。